

令和6年8月5日

令和5年11月に発生した米空軍横田基地所属のC V-22オスプレイの墜落事故の調査結果と国に対する要請について（概略）

このことについて、本日（5日）、中国四国防衛局から、昨年11月の鹿児島県屋久島沖で発生した米空軍横田基地所属C V-22オスプレイの墜落事故報告書についての説明を受け、併せて国に対し再発防止等の要請を行いましたので、下記のとおりお知らせします。

記

- 1 日 時 令和6年8月5日（月）11時00分～11時30分
- 2 相手方 中国四国防衛局長 田實 博幸（たじつ ひろゆき）
- 3 対応者 岩 国 市 長 福田 良彦（ふくだ よしひこ）
- 4 国からの説明概要 ※別紙のとおり
- 5 市から国に対する要請内容（口頭要請）
 - 今回のオスプレイの事故は、基地周辺住民に大きな不安を与えるものであり、大変遺憾である。
 - オスプレイは、これまでも岩国基地に立ち寄ることもあり、また、先月7月15日には、空母艦載機の機種更新について、C V-22オスプレイの配備に関する説明を受けたところでもあり、オスプレイの安全性については、市民の中に不安や懸念を示す声もある。
 - 今後、こうした事故が起こらないよう、安全対策として示されている、予防的点検と維持整備の頻度の増加、通常時・緊急時の搭乗員の手順の更新などはもちろんのこと、パイロットや関係者への安全教育の徹底など、住民の安全を最優先とした一層の安全対策に努め、再発の防止に万全を期すよう、米側に求めている。
- 6 要請に対する国の回答内容
 - 当該事故の原因は、左側のプロップローター・ギアボックスの不具合と操縦士の意思決定とされている。
 - その上で、本年3月の運用再開時にもご説明したとおり、先般の事故を受け、日米間では、前例のないレベルで技術情報に関するやりとりがなされており、事故原因に対応した各種の安全対策の措置を講じることで、同種の事故を予防・対処することが可能であり、これまでも安全に飛行を行ってきたところである。
 - 飛行の安全確保が最優先であることは、防衛大臣とオースティン米国防長官を含む、日米間のあらゆるレベルで確認しており、引き続き、日米で協力し、安全確保に万全を期してまいる。
 - 本日、要請があった内容は、本省にお伝えする。

次頁に続きます

《事故の概要》

- 令和5年11月29日14時40分頃、鹿児島県屋久島東側の沖合にて、訓練中の米空軍横田基地所属のC V-22オスプレイ1機が墜落事故を起こしたものの。
- 乗員は8名（米軍は乗員8名全員について死亡を認定）
- 飛行経路は岩国基地～嘉手納基地

担当課 総合政策部基地政策課 Tel 0827-29-5024